

広報

No. 227

くま

平成4年5月15日

発行・編集 国見町総務課

限りある資源を大切に
～資源回収報奨金制度～……………2

森江野小学校
体育館建設工事始まる……………3

水は限りある貴重な資源……………4

ふるさとの文化財……………5

おしらせ……………6～7

公民館だより……………8～9

わだい……………10

おもな内容



水田に 子どもたちの歓声

'92 5月

5月8日、小坂小学校（渡部正俊校長）の児童たちが、学校裏の水田で田植えの体験学習を行いました。

これは、子どもたちに農業の楽しさ、収穫の喜び、勤労の尊さを知ってもらおうと毎年行っているもので、約4アールの水田に苗を一つひとつ丁寧に植えました。

また11日には、田植えの労をねぎらい今後の苗の成長を祈る「さなぶり」を行い、児童たちがもちをつき、さっそく舌つづみを打ちました。

家庭から始めよう

〃ゴミのダイエツト〃

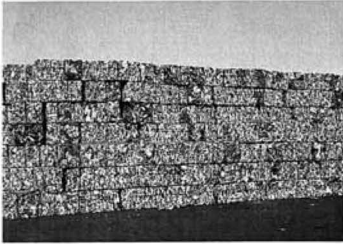
〃リサイクル効果を見つめ直そう〃

リサイクル—この言葉を耳にするようになって久しくなり

ます。

省資源の面からいわれていたこのリサイクルに、最近、新たな効果が見いだされてきています。ゴミ問題や省エネルギー問題に向けての効果がそれで、ごみ処理に悩む自治体をはじめ、各方面から注目されています。

これらの役割や効果の高いものの代表にアルミニウム（アルミ缶）と紙（古紙）があります。五月三十日は環境美化行動の日（ゴミゼロデー）。みんなで



▲捨てればごみ、使えば資源

リサイクル効果とごみのダイエツトについて考えてみましょう。

使えるものは

リサイクル

わたしたちが出す古くなったごみなどには、粗大ごみと呼ばれるものがあります。これらの特徴は、修理すれば使えるものが少なくないということです。ごみとして捨てるのではなく、資源として有効にリサイクル（再生利用）してみませんか。リサイクルには次の三つの利点があります。

- ①ごみの減量に役立つ
- ②資源を大切にすることを育てる
- ③地域のコミュニケーションを深める

町内会や子ども会、その他各種のグループが実施する、地域の集団回収などを、積極的に利用したいものです。

ごみの再利用は

地球を守る

資源ごみの中でも、紙類と金属類は特に再利用の道が大きい

のが特徴です。これらはどのように再利用され、わたしたちの手に戻ってくるのでしょうか。

紙類

不用になった新聞や雑誌などの古紙は、再生紙として利用され、同じように新聞や雑誌、ダンボールなどに生まれ変わります。

例えば、家庭で出る新聞一年分（七十キログラム）をごみ処理した場合、約千六百円の費用がかかります。

リサイクル

金属類

ジュースや缶詰の空き缶は、溶かして再び缶をつくる原料になります。特に、アルミニウムは再生する面で優れた素材です。再生しても品質が変わらず、何回でも再生利用が可能—それがアルミニウムなのです。このアルミニウムを使ったアルミ缶には「軽い」「よく冷える」などメリットも多く、また、空き缶からアルミニウムの地金を再生する場合の三割です。また再利用によって節約できるエネルギーで、空き缶一本につき四〇ワ

ットの電球を十一時間半点灯させることができるのです。

限りある資源を大切に ～集団資源回収に 報奨金を交付～

▼対象団体

地域住民で構成され、営業を目的としない団体

▼回収品目

古紙類（新聞・雑誌・グンボ—ル・紙バック等）、織雑類（衣類）、ビン類、非鉄金属類（アルミ・銅）

▼報奨金

資源回収し、売却した量1kgにつき5円

▼申請手続き

①事業を実施しようとする団体は、事前に登録してください。（ただし、町内会、保健委員会、母子保健推進員、婦人会、少年団は、手続きをしなくても、登録団体とみなします）

②事業を実施するときは、回収業者と連絡をとり、資源回収を実施し、売却してください。なお、売却価格については、当事者間で決めてください。

③実施後、速やかに売却伝票の写し等、数量のわかるものを添付し、実績報告書請求書を提出してください。

（団体登録書、実績報告書の様式は、保健課に用意してあります）

■申請・問い合わせ
保健課保健衛生係

☎0521111 内線141

平成4年4月から

▼制度の実施

資源・回収報奨金制度

ごみの減量化、資源化対策の一環として町内会やPTA、子ども会、スポーツ少年団などで実施する集団資源回収に対し、報奨金を交付します。交付希望団体は次の要領に基づき、申請手続きをしてください。

▼制度の実施

平成4年4月から

森江野小で

「みどりの日」記念植樹

森江野小学校の「みどりの日」記念植樹は四月二十八日、校舎正面玄関前で行われ、富永町長、仲野周一町議会議長をはじめ、町、学校関係者、六年生児童の皆さんなど約四十人が出席しました。



▲大きく育ちますように

今年二月に完成したばかりの学校敷地内に緑を増やすために、県ゴルフ連盟の緑化協力募金を受けて緑豊かな学校環境整備を図るために行われたもので、出席者全員が交代でケヤキの根元に土をかけました。

森江野小学校

体育館改築工事始まる

森江野小学校体育館の改築工事は五月八日、今年十二月末完成を目指して着工されました。

体育館は校舎の北側に建設され、和風造りの校舎にあわせ屋根は金属かわらぶきで、総工費二億五百三十八万二千円、鉄筋コンクリート、鉄骨造り、延べ床面積八百三十九平方メートル、競技床面積六百六十平方メートル、ステージのほか更衣室、放送室などが設けられます。



▲森江野小学校体育館完成予想図

役場で古紙の

分別回収を開始

役場では、資源の保護、ごみ

の減量化を推進するため、今まで燃えるごみとして出していた古紙の分別回収を始めました。

コンピュータ用紙系、上質紙系、新聞紙系、雑誌系、ダンボール紙系の分別回収専用箱を用意し、そこに、使用済みの紙を回収します。

紙のリサイクルを進めていくことは、省資源、省エネルギーにつながります。資源もエネルギーも乏しい日本では、従来から紙のリサイクルに努力してきた結果、今では紙の原料の約半分は古紙となっています。

ところが、最近では、地球環境問題の一つである森林資源の保護、ごみ処理対策の問題が取り上げられており、いままでも増して、古紙の回収、利用が必要となっています。

みなさんも、資源の保護、省エネルギーのためにもごみの減量化にご協力をお願いします。

5月 水防月間
地域住民の協力で 郷士の水防活動を

梅雨や台風シーズンになると、毎年のように集中豪雨や河川の氾濫で、大きな水害が各地で発生します。

大切な生命や財産を守ろうと、建設省は五月を「水防月間」と

して諸活動を行っています。

「豪雨になりやすい 気候と地理的条件」

細長い国土に二、〇〇〇三、〇〇〇メートル級の山々がそびえるわが国では、一般に河川は短く、しかも急勾配になっています。こうした地理的条件に加え、平均降水量は年間一、八〇〇ミリと、世界平均の約二倍に相当します。梅雨や台風シーズンなど特定の季節に集中する

ため、豪雨に見舞われると洪水が発生しやすい危険な状態にあるのです。このため、古くから為政者が治水事業を行ってきたが、毎年のように水害が各地に無残なつめ跡を残しています。

万一の時には、地域住民の協力がなによりも必要です。危険が迫った場合でも、あわてずに適切な行動がとれるよう、ふだんから備えておきましょう。

板橋東住宅団地周辺道路の 交通規制について

板橋東住宅団地造成工事がこのほど完成し、これに伴い団地周辺道路の交通規制二時停止・時間帯右折禁止となりま

板橋東住宅団地周辺図



水道週間 100%

水は限りある

貴重な資源

蛇口をひねると、水は無尽蔵に溢れ出ると思いがちですが、水はいまや限りある貴重な資源です。

一人ひとりが積み重なると、私たちの暮らしに大きな影響を与えることにつながってしまいます。

●コップ3杯で済む歯磨きも流しっぱなしでは、1分間に6リットルもの水が無駄になります。

●洗濯も、工夫しだいで1回100リットルの水で済みます。流しっぱなしでは、約240リットルの水が必要で、

●バケツなら5杯で済む洗車も、



流しっぱなしのホース洗いで、なんと30杯の水が必要となります。

6月1日～7日までは「水道週間」です。この機会に水の大

切さを見直すとともに、一人ひとりが節水を心掛け、水への感謝の気持ちを忘れぬようにしたいものです。

県水道協会長表彰受賞



高橋友義さん



村上嘉一さん

去る四月十六日福島市の県自治会館で開かれた福島県水道協会定期総会の席上、長い間、簡易水道の安定経営に努力され、きれいで、豊かな、低廉な水の供給に尽くされた功労に対し、次の二人の方が、福島県水道協会より表彰されました。

お二人の受賞に対し、感謝とお喜びを申し上げます。受賞おめでとうございます。

「水は生命の源」です。毎日、なにげなく使っている水。豊かな暮らしに役立っております。感謝しつつ水を大切に使いましょう。

◇受賞された方

- ・高橋友義さん(小坂・北町東43)
- ・小坂簡易水道組合長
- ・村上嘉一さん(山崎・上川前26)
- ・前山崎簡易水道組合長

伊達地方水道フォーラム'92

(保原保健所管内水道施設30周年記念事業)
 6月3日(休) 午後1時
 会場…保原町民センター
 内容…①公演「昔話と水」 講師 森和美氏(声優)
 ②パネルディスカッション
 (伊達地方水道サミット)
 「町長、我が町の水道を語る」
 ●コーディネーター
 田沢 真氏(NHK福島放送局副部長)
 ●パネラー 伊達7町各町長
 ●モデレーター 山口靖明保原保健所長
 ●司会 菅原美智子氏(ラジオ福島アナウンサー)

人健 老保 届け出が必要です

七十歳(寝たきりなどの人は

六十五歳)以上の方がお医者さんにかかるときは「老人保健」という制度になります。

この制度は、すでにいずれかの医療保険に加入している人で、七十歳(寝たきりなどの人は六十五歳)を過ぎると、いままでの医療保険から老人保健に切りかわります。

表のようなことがありましたら、すみやかに届け出てくださ

■問い合わせ

保健康国保係
 ☎852111 内線143

こんなとき	いつまでに	届出に必要なもの
70歳になったとき	14日以内	印かん・保険証
医療保険が変わったとき	14日以内	印かん・保険証
転入してきたとき	14日以内	印かん・保険証
転出するとき	すみやかに	印かん・健康手帳
町内で住所が変わるとき	14日以内	印かん・健康手帳
死亡したとき	14日以内	死亡届出義務者が印かん・健康手帳を添えて届け出る
健康手帳をなくしたとき	すみやかに	印かん・保険証

愛の献血に

84人が協力

五月六日、移動採血車一台が来町し、福祉センターの老人子ども室を会場とした、成分献血(オープン採血)とセツトで献血活動を行いました。

今年も、国見ライオンズクラブから明年千五百個、福島信用金庫国見支店からゆで二百個、国見町薬業組合から栄養剤百五十本の協力をいただき八十四人(申し込み者は八十八人)の方々から献血のご協力をいただきました。

献血ありがとうございます

「ございました」

(順不同、敬称略)

●印の方は四〇〇ml協力者です(一般協力)

- 築瀬 貞子 奥山 広一
- 大塚 信夫 後藤 奥志男
- 菊地 信夫 武田 正三
- 草野 哲雄 奥山 美津子
- 菊地 昭平 奥山 洋三
- 斎藤 ヨシ 児玉 福男
- 佐藤 美喜子 佐藤 義行
- (国見ライオンズクラブ)
- 高橋 貴夫 後藤 忠男
- 佐久間 信 後藤 忠男
- (国見ガス住宅設備)
- 八巻千代子 高橋 政味

ふるさとの文化財

90

かこいいし 囲石遺跡

菊池利雄



▲石母田囲石遺構

大な量の集石遺構がある。

この囲石の周辺、西沢川の上流大沢沿いを地形図によってみれば、山頂部より急傾斜地と緩傾斜地が階段状に連続する地形がみられるので、かつて何回かにわたって大規模な地すべりを起こしたことが知られ、上囲石や

下囲石から陣場山・二ツ眼の平地もその痕跡とみることができ

る。このような観点からすれば、

囲石の集石は上流で生じた大規模な土石流が、谷縁に沿って押し出されたのが長い歳月の間に土砂の部分が流れ去り、石のみが残った自然地形ともみられるが、上囲石や下囲石の東部に残る石塁状の遺構は、明らかに人工の手が加わった痕跡がみられる。

地元の伝えでは、囲石は平安時代の初め蝦夷征伐に下向した坂上田村麻呂に反抗した鬼が住んでいた石窟の跡といわれるが、もとより伝承の域をでない。

明治三十七年(一九〇四)、當時東京大学の教授であった三浦周行氏が、文学の五年(一一八九)の奥州合戦において、源頼朝の率いる鎌倉軍と藤原泰衡の奥州軍との決戦場となった阿津賀志山の調査に訪れ、石母田国見神社の菊池宮司の案内により、つぶさにその戦跡を巡られた所見をもとに、「阿津賀志山」なる論文を発表されておられる。(のちに「国史の研究」に収録)それによれば、石母田の山館、陣場館やこの囲石遺構も、合戦の遺跡とされている。

奥州軍が鎌倉軍を迎撃するため、伊達と刈田の郡境一帯の地に構築をみた阿津賀志橋は、現存する阿津賀志山防塁を第一線とし、平泉をめざす東山道を幾重かの横断する防塁をもって守備する野戦用の陣地であった。

囲石の付近は、この橋の西から山沿いに侵攻する敵勢に対する搦手の地にあたり、この地に石塁の構築を準備したのがこの集石で、鎌倉軍の進攻に間に合わず、未完成のままに放置された遺構とみられるが、詳しくは今後の調査検討に待たれたい。

石遺跡は県道赤井畑国見線より分岐する、林道西畑線(部分開通)を約一〇メートル程入った道を挟んで所在する。



▲福祉センターで行われた成分献血

高橋 修一	鈴木 廣茂	安藤 幸江	小西 春彦
(睦商会)		武田 孝子	羽根田孝司
佐藤喜代子		村上 幸平	斎藤由起子
(藤田郵便局)		齋藤 忠一	藤田 和己
栗原 守	岩城 恭郎	蓬田 恭子	佐藤 和夫
(公立藤田総合病院)			
遠藤トシ子			
(仙台ストッキング製国見工場)			
大内 幸子	山本ふじ子	尾形 広治	斎藤 規雄
(柳安藤建設)		阿藤 正美	佐藤ひろみ
篠田さつき	三浦 博	高橋 洋一	
●佐久間光雄	佐藤 周明	(コープマーケット国見)	
(国見町商工会)		半沢アサ子	本間 都
●佐久間ツヤ子	佐久間君子	(東栄電機)	
佐久間正男	高橋 芳男	佐藤 幸輔	
渡辺 勝弘	安彦 光典	(国見町商工会)	
渡辺 勝美	木村真由美	吉田とき子	
木村 敏子		(国見町役場)	
(国見町役場)		後藤登美子	八卷 忠義
佐野 貞治	奥山 隆夫	武田 智	佐藤 孝
吉田 吉夫	赤坂 斉	遠藤 喜正	菅野 信朗
武田 友江	吉田 俊江	引地 由則	菊地 弘美
		松浦 昭一	武田 正裕
		吉田 昭一	武田 茂成
		松浦 昭一	佐久間 克
		羽根 洋一	佐藤 龍一
		松浦 幸雄	佐野 龍一
		菅原 文子	武田 幹夫

5月 今月の納税

- 軽自動車税
- 伊達西部土地改良区費(前期)
- 伊達西根堰土地改良区費(前期)



高齢者の保健福祉

アンケート調査に
ご協力を

高齢者の保健福祉に関するこのアンケートは、本格的な高齢化社会に向けて、皆さんの実情や要望を正確に調査し、県、市町村が一体となって高齢者の保健福祉サービスを推進するため、県内に居住されている六十五歳以上の方全員を対象として実施するものです。

この調査結果につきましては、県及び市町村の老人保健福祉計画の策定資料として統計的に活用させていただきますとともに、公的な保健福祉サービスを実施するための基礎資料とさせていただきますので、五月中旬～七月中旬に民生委員又は町保健婦が調査に伺いますので、主旨をご理解いただきますようお願いいたします。

■問い合わせ

・住民福祉課福祉係
・保健課保健衛生係

国民年金
こんなときにも
届け出が必要

わたしたちの老後の暮らしを支える国民年金制度。すべての国民が公的年金制度に加わって、老後・障害または死亡となった際に、年金による所得保障を受けることができる……これが国民年金の考え方です。

住所が変わったり、被保険者の種別が変わったりした場合、国民年金の届け出が必要になります。

次のようなときは、忘れずに届け出をしましょう。

- サラリーマンの夫が
転勤して住所が変わった
→転入先の住所変更の届け出
さらに夫の被用者保険の適用が
変わった場合は、被保険者の種
別確認の届け出。

- サラリーマンの夫が脱サラし
自営業をはじめた
夫婦ともに被保険者の種別変
更の届け出。第一号被保険者にな
り、国民年金の保険料を納め
るようになります。
- OLが結婚するために
退職した

種別変更の届け出。結婚するまでは、第一号被保険者で国民年金の被保険者になり、国民年金の保険料を納めるようになります。結婚後、相手の方がサラリーマンの場合は、被扶養配偶者になったときは、改めて種別変更の届け出をして第三号被保険者になります。

■問い合わせ

住民福祉課年金係

☎052111 内線1335

戦没者などの
遺族の皆さんへ

特別弔慰金は昭和四十年に創設された制度で、戦没者などの遺族に対し、国としてあらためて弔慰の意を表するために支給されるものです。

平成元年度に制度の改正が行われ、昭和六十年四月一日から平成元年三月三十一日までに、公務扶助料、遺族年金などを支給していた遺族（戦没者等の妻、父母等）が失権した場合、残さ

れた遺族に特別弔慰金として額面十八万円、六年償還、無利子の国債が支給されます。

なお、第四回特別弔慰金（額面三十万円、十年償還）の支給の対象となった遺族は対象となりません。

◇請求期限

平成4年6月27日

※期限までに請求しませんと受給できなくなりますのでご注意ください。

■請求先・問い合わせ

住民福祉課福祉係

☎052111 内線1333

5/10 5/16

春の行政相談週間

国の行政機関をはじめ、公団や公庫、事業団、さらにはJ.R、N.T.T、日本たばこなどの特殊法人の仕事に対する苦情や要望、問い合わせを受け、問題を解決し、より良い行政を目指す。これが行政相談制度です。

五月十日～十六日は「春の行政相談週間」です。併せて「国民の立場に立った親切な行政」「真心のこもった行政」を目指し「さわやか行政サービス推進月間」の行事が五月いっぱい行われます。

行政相談委員は、法律に基づ



いて総務庁長官から委嘱を受けた民間の有識者から、行政に対する苦情や要望を住民から聞いて解決をしていく、最も身近な相談相手です。

（行政相談委員）

・内池 和子

国見町大字山崎字沢田10-9

☎0533200

第4回国見町町民ゴルフ大会

日 時：平成4年6月21日(日) 雨天決行
 8:00スタート
 場 費：白鳥カントリークラブ プレール費18,700円
 1人3,000円
 賞 格：100名(先着順)
 趣 意：国見町民であること。又は国見町内に勤務されている方。
 申し込み：5月18日～25日 国見町商工会事務局
 又は白鳥カントリークラブへ。

■問い合わせ
 国見町商工会事務局 ☎85-2280
 白鳥カントリークラブ ☎85-4141
 ~奮ってご参加ください~

戸籍の窓口

(4月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
秀駿(ひでとし)	菊地 喜伸	石母田原
永人(ながき)	伊東 一永	耕田谷
早紀(さき)	大沼 啓助	石母田北
満(みつる)	宍戸 茂美	田北二
濠太郎(りんたろう)	小西 嘉茂	第十内
真衣(まい)	鈴木 英夫	川内
亜由美(あゆみ)	八巻 謙一	川内

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
高野 顕 宏	下町内
佐藤 昌 代	田原町
鈴木 秀 昭	川町
渡邊 弥 幸	梁山町
後藤 正 子	高城田
佐藤 信 雄	貝田
タンデンモリデス	フィリピン
佐藤 朋 浩	館部
瀬戸 朋 美	館部

おこやみ申し上げます

氏名	年齢	町内会
大津 洋	89	第三
松和 要	86	石母田原
田中 楠	71	源宗山東
大佐 藤	89	貝田
秦 七ナ	95	駅前

人口と世帯

5月1日現在(前月比)4月中のうごき

人	男 5,757人 (-1)	転入	42人
	女 6,182人 (+11)	転出	34人
口	計11,939人 (+10)	出生	7人
世帯数	2,999戸 (+3)	死亡	5人

ご存知ですか?

人権擁護委員制度

人権擁護委員制度をご存じですか。

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。昭和二十三年に政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員制度の始まりです。

人権は、人間が平和に生きてゆく上で、最も大切な権利です。自分だけでなく、あなたも私もみんな人権が尊重されなければなりません。お互いに人権を守って明るい

社会をつくるのが、私たちの願いです。

困りごと、悩みごとなどがありましたら、次の人権擁護委員にお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。

- 蓮田 正敏：☎8543334 徳江字前原22
- 牧野 武夫：☎852615 藤田字日渡37の2
- 鈴木 キヌ：☎75210 川内字小又20

お早めに申し込みを

しあわせ

金婚夫婦表彰

結婚して五十年、ことしめでたく金婚式を迎える皆さん、誠にありがとうございます。六年前、果老人クラブ联合会

と福島民報社が共催でスタートした「しあわせ金婚夫婦表彰」は、県内各地で、反響を呼び、二八、七〇六組のご夫婦が表彰されました。

今年も次の要領で実施されますので、お早めにお申し込みください。

- ◇表彰を受けられる方
昭和十七年中に結婚されたご夫婦。また、昨年申し込みの手続きをしなかったご夫婦。
- ◇申し込み(手続き)
表彰に該当される方は、町老人クラブ連合会事務局(住民福祉課福祉係)にお申し込みください。
- ◇受付期限
平成4年7月13日(月)
- ◇表彰式
町敬老会の席上、表彰いたします。

問い合わせ

住民福祉課福祉係
☎521111 内線133

自動車税は

お早めに!

五月は自動車税の納期です。平成四年度の自動車税の納期は、六月一日までとなっております。最寄りの金融機関などから忘れずに完納されるようお願いします。

また、身体障害者等の方が一定の条件に該当すれば、自動車税が減免となります。

減免申請期限……5月25日
問い合わせ
福島県税事務所
☎(2)1111
内線4413 34422

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
〔相談員〕

- 5月25日(月) 村上 金正・佐藤 節子
- 6月5日(金) 桜沢 正・斎藤 洋子
- 6月15日(月) 松浦 輝夫・佐久間モト



5月 卓月(さつき)

- 18日(月) 国際善意デー
- 21日(木) 家内労働旬間
- 30日(土) 消費者の日
ゴミゼロデー
- 31日(日) 世界禁煙デー

6月 水無月(みなづき)

- 1日(月) 水道週間
- 4日(木) 歯の衛生週間
- 5日(金) 世界環境デー
- 7日(日) 計量記念日
- 10日(水) 時の記念日



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

学級・教室が一斉に開講

▼阿津賀志学級

平成四年度の阿津賀志学級開講式並びに交通安全大学証交付式が去る四月三十日、約二百名の学級生が出席して行われました。

初めに学級の歌斉唱があり、春日公民館長挨拶後、新入級生四十八名に大学長である富永町長より、交通安全大学証が交付され、交通安全への誓いを新たにしました。

続いて町長及び桑折警察署長



▲阿津賀志学級開講式

から励ましの言葉をいただいた後、本年度の学習計画についての説明がありました。

今年度は国見町が厚生省より「高齢者の生きがいと健康づくり推進モデル市町村」に指定されましたので、それに伴い阿津賀志学級の学習計画も、例年より内容、時数共大幅に増え、更に学習方法も、全学級生によるアサガオの栽培などの体験学習を取り入れるなど、多様な面から工夫されております。

学級生も昨年度より多い、三百五十四名で、全体学習会二十回、趣味のグループ学習(書道、はり絵、七宝焼、陶芸、社交ダンス)三十五回が予定されております。

なお開講式後、前霊山町立掛田小学校長の佐藤宣夫様より、「家庭、地域における高齢者の役割」というテーマで、貴重な資料をもとに有意義なお話を聞き、充実感、満足感のうちに終了することができました。

今後年間計画に基づき、学習会を行うわけですが、数多くの出席をお願いします。

今年度の役員は次の方々です。

- 委員長 藤田 勝衛
- 副委員長 村上 新吉
- 庶務 佐久間 ち
- 会計 遠藤源五郎
- 監事 五十嵐栄雄
- 大波 勇
- 佐藤イクヨ

▼成人学級

平成四年度の成人学級開講式は五月八日、四十四名の学級生が出席して行われました。

式は公民館長のあいさつ、教育長の祝辞、年間学習計画の説明があり、主体的な学習をすることを心に誓いました。

今年度は十四回の学習がありますが、学習内容は例年になく



▲成人学級開講式

バラエティーに富み、新しい内容もとり入れられました。

また、グループ活動として、社交ダンスとバウンディングテニスを行うことになり学級生一同、学習意欲をさらに高めました。

式後、第一回学習として、福島市生涯学習推進指導員の丹治成男先生から「生涯学習時代における成人学習のあり方」についてのお話しを聞き、生涯学習の認識を新たにしました。

役員は次の方が選ばれました。

- 委員長 村上 太一
- 副委員長 早田 精
- 会計 多勢 勝美
- 支部委員

鈴木フミ・奥山愛子・小西富治
・斎藤太助・八巻衛・内池育男
・斎藤春江・亀岡文英

▼く に み 女性教室

平成四年度の女性教室開講式が、去る五月八日(金) 三十五名が出席して行われました。昨年度までの名称であった中央婦人学級を改称し、「婦人」から一歩踏み出して、「女性」にして新たなスタートを切りました。

今年度は、相互学習を努力目標にあげ、教室に参加している方の中から指導をお願いして、三つのグループ活動を取り入れました。紙粘土を五十嵐君代さ

んに、和紙工芸を永塚美智子さんに、バウンディングテニスを玉木洋子さんに、実戸マツさんにそれぞれ教えてもらい、教え教えられながら親感が深まるものと思えます。その他に全体学習が十七回あり、女性としてより豊かに生きられるよう学習を進めています。

開講式のと、国見電子株式会社 長廣木孝安様から「地域づくりと女性の役割」をテーマにお話をいただきました。企業経営に携わる方のお話を聞き、とても意義深いものであります。

今年度の役員は次の方々です。

- 委員長 五十嵐君代
- 副委員長 玉木洋子
- 会計 太田栄子
- 支部委員 安田節子・永塚美智子・広瀬利子・関本蓉子・鈴木郁子



▲く に み 女性教室開講式

子育てコーナー

安心育児は 仲間づくりから

(子育てネットワーク)

昨年度から実施した「子育て教室」は大きな成果をのこし、本年度はさらに飛躍的な「子育て教室」をめざして、とくに働くお母さんのために夜間部「子育て教室」を新設して取りくん

国見町のお母さんは二世世代族にめぐまれ(76%)子育ての悩みも少なく(46%)相談相手にめぐまれております。しかし中には「父親が忙しく母親まかせで不安」(11%)「家族の協力が得られない」(6%)「家族の意見が合わない」(16%)「子育ての目安がなくなる」(16%)といった問題を抱えて

このような問題を公民館がすべて解決してやることは困難ですが、お互いに寄り合って、知恵を出し合って対処してゆけば道はひらけると信じております。このために公民館はできるだけこのことをしたいと思えます。

「同じ悩みをもって居るのは私だけでなかった。参加してよかった」、「若い人の中で不安だったが、昔どりの育て方でよかった。ほっとした」と参加したお母さんやおばあちゃんは喜んでおりました。公民館としては、そこに大きなより所をもって長く「子育て教室」を続けてゆく、教室に参加した人たちの縁と人の輪を大切にして、新しい人たちに引継いでゆけるような「子育てネットワーク」をつくりたいと念じております。

「三人寄れば文珠の知恵」と昔からいわれ、物のゆたかな時代に忘れられて、物を思いおこして、先輩であるおばあちゃんや同世代の人たちと話し合いや励ましあって、安心して育児ができる仲間づくりをしてゆく基盤として「子育て教室」を経営してゆきたいと思えます。ぜひこの仲間づくりに参加して下さい。

子育ての終わった方は保育ボランティアをお願いします。皆様

からの電話をお待ちしております。

寄贈図書 ありがとうございます

○地方自治百年史第一巻 一冊 地方自治法施行四十周年・自治制公布百年記念会様

栗駒山登山参加者募集

栗駒山には、数多い高山植物が群生し、多種の鳥類が棲息しています。また、世界谷地には、高合性湿原植物のワタスゲ、ニッコウキスゲ等が群落し、6月下旬が見頃です。一緒に初夏の登山を楽しみましょう。

- とき 6月20日(土)・21日(日) 1泊2日
○コース (初日)栗駒町～世界谷地原生花園～いこいの村栗駒(泊)
(2日目)イワカガミ平～栗駒山頂～東栗駒山頂～イワカガミ平
○対象 一般町民で70歳未満の健康な方 定員30名
○参加料 10,000円
○申込み 6月12日(金)まで



行事予定表

Table with columns for Date (日), Day of Week (曜), Event (行事), and Preparation (備考). It lists various community events from May 15th to June 14th, including tennis lessons, parent-child cooking classes, and group activities.

わだ い



また、いっしょに

あそぼうネ

町内各季節保育所の入所式は四月十日、小坂、森江野、大木戸、大枝の四保育所で行われ、合わせて百四十六人の子どもたちが入所しました。
大枝季節保育所では記念撮影のあと入所式が行われ、子どもたちは早速、仲良しのお友だちと楽しそうにおしゃべりなどを



▲大枝季節保育所の入所式

していました。
季節保育所は十一月末まで開設されます。

徳江忠さん・エミさん

ゴールイン

ブラジル・サンパウロ州から農業研修生として国見町に来町していた重富エミさんと、徳江忠さん(徳江字原一九)の結婚披露宴は四月二十九日、J.A.ふくしまくにみ会館で開かれました。

披露宴には、町、町議会、J.A.関係者などをはじめ約百四十人が出席、新郎、新婦が会場に姿を見せると出席者から大きな拍手が起こり、媒酌人の菊地太三福島国見町組合長のあいさつに続き、富永町長などが祝辞



▲幸せいっぱいのお二人

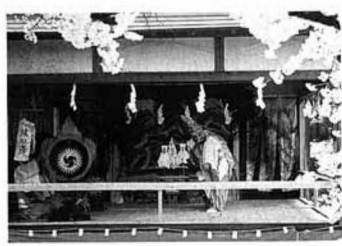
を述べ、二人の新たな門出を祝いました。

祝宴では、二人の力を合わせてウエディングケーキに入刀すると一層大きな拍手が起こり、多くのかたがたから祝福と激励を受けていました。

春日神社で例大祭
太々神楽を奉納

内容春日神社境内の桜が満開に咲き誇る四月十八日、町無形民俗文化財指定の「太々神楽」が、神楽殿で奉納されました。

当日は、午後一時半から全二十六座のうち「神招」「狼田彦」「御神祈」など十二座を奉納、境内には地元の人たちをはじめ大勢の見物客が訪れ、熱心に見入っていました。また、舞いの途中で福もちが振る舞われると、



▲優雅な舞を披露

見物に訪れた子どもたちが大喜びしてもちを拾いました。

テント村で

安全運転を呼び掛ける

町交通安全協議会では「春の全国交通安全運動」期間中の四月十日、貝田地内の国道四号線沿いで交通安全テント村を実施しました。

テント村には富永町長、本田恭博桑折警察署長をはじめ交通安全安全母の会、桑折地区交通安全協会国見支部会、国見ライオンズクラブ、シルバード推進隊などから約四十人が参加しました。

参加した皆さんは、通行するドライバーにチラシやポケットティッシュを配り「安全運転をお願いします」と呼び掛けました。



▲ドライバーに事故防止を呼び掛ける

にぎわった
農業市

こどもの日の五月五日、恒例の「農業市」が親月台公園で開かれ、時折、強い風が吹く中、町内外からの多くの家族づれなどで終日にぎわいました。

公園の沼の周囲一面に所狭しと並んだ出店には植木や草花をはじめ、種苗、農具、子どもたちに人気の金魚すくいやおもちや屋などが軒を連ね、買い求める客が切れ目なく続いています。



▲大勢の人でにぎわった農業市

編集日記

○5月に入り田植えも一段落し、ほつとひと息。18日からは結核検診・基本健診が始まります。年に一度はぜひ受診し、健康をチエックしたいものです。